

2011 年度活動報告

2011 年度の東京災害ボランティアネットワークは、東日本大震災被災者支援活動に全力で取り組むこととなりました。東京災害ボランティアネットワーク参加団体の多くもそれぞれで被災地に拠点を置いて被災者支援活動に尽力することとなりました。

社会全体が東北の被災地、および全国に避難している避難者の方々へ心を寄せて支援する 1 年となりました。その影響もあり、この間取り組んできたいくつかの活動に取り組めなくなってしまうこともありました。しかし、被災者支援活動に全力で取り組む中で、多くのことを学ぶことにもなった 1 年でもありました。

東京災害ボランティアネットワークは、引き続き、東日本大震災被災者支援活動を全力で進めていくとともに、来たるべき東京での災害に備えるため、参加団体のみならず、数多くの団体・組織・市民と「顔の見える」関係を築いていきます。



東日本大震災被災者支援活動で東災ボが使用している車両に貼られたシール。今回の支援活動では、これまで縁のなかった団体や組織からも数多くの支援をいただいております。

■東日本大震災被災者支援活動の取り組み

- ・2011年3月11日に発災した東日本大震災の被災者支援活動を、これまでの経験、ネットワークとしての知恵を結集して全力で実施しました。
- ・宮城県登米市をボランティア拠点として、主に宮城県南三陸町の被災者の方々の支援を実施しました。

<これまでの経過>

◆2011年

- 03月11日 東日本大震災発災
- 03月17日 第二回東京災害ボランティアネットワーク役員会開催(臨時役員会として開催)。ここで、東京災害ボランティアネットワークとして被災者支援活動を実施することを確認
- 03月24日 先遣隊として、上原事務局長が宮城県登米市・南三陸町・石巻市などを視察
- 03月26日 宮城県登米市から市施設の拠点使用許可をいただく
- 【第一期支援活動の実施(04月02日~09月30日:26週)】
- 04月02日 東京災害ボランティアネットワーク被災者支援活動ボランティア派遣開始
- 07月19日 NOプログラム実施(~7月21日)
- 07月31日 仮設住宅での支援プログラム(ふれあい喫茶)を展開
- 【第二期支援活動の実施(2011年10月1日~2012年3月31日:24週)】
- 10月01日 第二期支援活動のボランティア派遣の開始
- 12月24日 年内の活動を終了

◆2012年

- 01月07日 2012年の活動を開始
- 03月17日 2012年度の活動を終了
- 03月20日 2012年度の被災地での活動を終了
- 【第三期支援活動の実施(2012年4月1日~9月30日:24週)】
- 04月21日 現地ボランティア宿泊拠点を移転して第三期支援活動のボランティア派遣の開始
- 07月14日 現在61週目のボランティア派遣を実施中

- 名称 : 東日本大震災被災者支援活動
- 期間 : 2011年4月2日～2012年3月31日
- 場所 : 宮城県南三陸町、および登米市
ボランティア宿泊拠点は、登米市から登米町保健センター2階施設を借用
- V参加数 : 803名(のべ5209名/日)
- プログラム : 南三陸町災害ボランティアセンター支援/避難所支援(南三陸町内2ヶ所、登米市内7ヶ所)/仮設住宅支援活動(登米市内6ヶ所、南三陸町内1ヶ所)
- 協力 : ジャパンソサエティ、中央労働金庫、真如苑、東京都共同募金会、東京ボランティア・市民活動センター、連合東京、東京都生活協同組合連合会、パルシステム東京、コープとうきょう、南部生協、自然派くらぶ生協、パルシステム連合会、全労済東京都本部、日本生活協同組合連合会、COOP 災害ボランティアネットワーク、シャンティ国際ボランティア会、Youth for 3.11、TKM、いたばし総合ボランティアセンター、日野市社会福祉協議会、真如苑 SeRV、海鴻社、東京精神保健福祉士協会、三宅村、三宅島社会福祉協議会、みやけしまく風の家、セカンドハーベスト・ジャパン、東日本大震災被災者支援全国ネットワーク、日本財団ROADプロジェクト、荒川交通、ニッポンレンタカー、A-yan Tokyo

他多数の個人・団体の方々

■被災地からの協力

: 南三陸町、南三陸町災害ボランティアセンター、南三陸町被災者生活支援センター、登米市、登米市社会福祉協議会、登米市登米町三日町町会、障害者地域支援センター「どんぐりの家」、横山不動尊、大徳寺、他各仮設住宅の自治会をはじめとする被災者の方々

■財政報告 : 別紙資料参照



写真左：三宅島から届けられた被災者の方々への寄せ書き
写真右：避難所が解散した後、実施された避難者同窓会での集合写真

■首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討

- ・災害時に想定される具体的課題である帰宅困難者対策に対し、市民と関係機関、民間組織・団体の協働の訓練を予定していましたが、東日本大震災被災者支援活動の影響、また2011年9月に発足された「首都直下地震帰宅困難者等対策協議会」の動向を踏まえ、東京災害ボランティアネットワークが主管する訓練は実施できず、東災ボ参加団体の連合東京が主管する帰宅困難者支援に協力参加する形態となりました。

<首都直下地震帰宅困難者等対策協議会について>

2011年9月に、内閣府と東京都の共同で設置された首都直下地震帰宅困難者等対策協議会に、協議会委員として東京災害ボランティアネットワーク代表の山崎氏が、幹事会委員・ワーキンググループ(WG)メンバーとして事務局長の上原が参画しています。

2011年9月20日の第一回協議会から幹事会・WGを含め、数回にわたり開催されている協議会についてご報告いたします。

なお、東災ボの副代表団体でもある連合東京から連合東京関東ブロック連絡会として、大野会長が協議会委員として、須永事務局長が幹事会委員・WGメンバーとして参画されています。

<連合東京「首都帰宅困難者対応訓練」>

日時：2012年2月4日(土)

場所：新宿区～杉並区コース、多摩コース

参加：1380名

主催：2012首都帰宅困難者対応訓練実行委員会



連合東京が主体となり、東京経営者協会等で構成される実行委員会形式で訓練は取り組まれたようです。

■地域や組織・団体の防災力向上に向けて取り組みます。

- ・地域や組織・団体の講座・研修に講師派遣・プログラム提供をおこなうことで、防災力向上に向けた取り組みを実施しました。

【講師派遣】(25回)

2011.06.11	豊明災害 VC	災害 V 講座	講師派遣
2011.06.18	連合千葉	災害 V 講座	プログラム提供
2011.06.26	ピアネット北	防災市民講座	講師派遣
2011.07.23	慶応大学	被災地支援研修	講師派遣
2011.07.30	DPI	防災市民講座	講師派遣
2011.08.15	南部生協	理事学習会	講師派遣
2011.08.26	全国一般労働組合	労使セミナー	講師派遣
2011.09.01	日本創造経営者協会	教養講座	講師派遣
2011.09.03	ちよだ VC	災害 V 講座	講師派遣
2011.09.03	全労済	防災研修	講師派遣
2011.09.19	明治大学公共政策大学院	シンポジウム	スピーカー派遣
2011.09.22	千葉県立姉ヶ崎高校	教育基礎講座	講師派遣
2011.09.29	建設コンサルタンツ協会	専門委員会	講師派遣
2011.10.02	登米市立中田中学校	防災講習	講師派遣
2011.10.04	連合三多摩	政策討論集会	講師派遣
2011.11.17	おたがいさまネットワーク	シンポジウム	スピーカー派遣
2011.11.26	こだいら VC	災害 V 講座	プログラム提供
2011.11.28	登米市社協	災害 V 講座	講師派遣
2011.12.17	連合千葉	災害 V 講座	プログラム提供
2011.12.21	commons	防災研修会	講師派遣
2012.01.21	JAM 関東	防災研修講座	講師派遣
2012.02.24	小金井市	防災講演会	講師派遣
2012.02.25	うつくしまネット	シンポジウム	スピーカー派遣
2012.03.02	南多摩ブロック社協	職員研修会	講師派遣
2012.03.08	NPO バース	職員研修会	講師派遣

なお、上記事業以外にも、各団体・地域が取り組む防災講座・研修にあたり、プログラムの提案・研修内容へのアドバイスなどを実施しています。

【委員派遣】

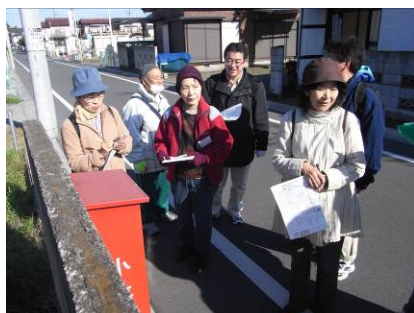
東京都共同募金会配分委員派遣	委員派遣	上原
内閣府・東京都「首都直下地震帰宅困難者等対策協議会」	委員派遣	山崎（東災ボ代表）
	幹事派遣	上原
内閣府「防災ボランティア活動検討委員会」	委員派遣	福田・藤野（東災ボ運営委員）
東京ボランティア・市民活動センター運営委員会	委員派遣	福田

【委託事業】（1 事業）

- ・地域や組織・団体といった「集団として」の防災力向上に向け、市民講座や研修などを開催しました

東京都生協連(4 回)

2011.11.12	COOP 災害ボランティアリーグ-養成講座	第一回	開講式／記念講演
2011.11.26	COOP 災害ボランティアリーグ-養成講座	第二回	地域連携プログラム
2011.12.10	COOP 災害ボランティアリーグ-養成講座	第三回	災害シミュレーション
2012.01.21	COOP 災害ボランティアリーグ-養成講座	第四回	炊き出し体験／修了式



恒例となった防災まち歩きプログラムは、小平市の社会福祉協議会と協働のプログラムとして実施することになりました。地域と団体を繋げる東災ボならではの取り組みとなりました

■ 広く市民の方々の防災・減災意識啓蒙に向けての取り組み

- ・より多くの様々な主体が参画・協働できるイベント型啓蒙活動やシンポジウムを実施しました。

◇1.17 イベントの開催

毎年1月17日前後に全国的に開催されている「1.17 灯りのつどい」。東京災害ボランティアネットワークでは、2000年から取り組み続けているイベントですが、多くの団体とともに連携・協働するイベントとして定着しています。

いま、わたしたちに、できること。

2012 KOBE MEMORIAL 1.17 灯りのつどい

日 時：2012年1月14日(土) 16時00分～18時00分

場 所：東京国際フォーラム地上広場

内 容：灯りのつどい／炊き出し(お汁粉)／煙体験ハウス／パネル展示
／スクリーン映像

参加者：約600名(炊き出し食数より)

主 催：東京災害ボランティアネットワーク

共 催：(株)東京国際フォーラム／東京ボランティア・市民活動センター

後 援：東京都



東日本大震災の影響か、パネル展示を見入る方が大勢おられ、災害対策や防災力向上への市民の関心が高まっていることを感じました

■参加団体、および関係団体との連携を深める活動

- ・東京災害ボランティアネットワークの全ての活動は、参加団体、および関係団体との信頼関係に基づく連携と協働によって実施されています。東日本大震災被災者支援活動や 1.17 イベントはその最たる取り組みではありますが、2011 年度は、東日本大震災支援全国ネットワークへの参画等、関係団体との連携を深める活動を実施することができました。

◇東日本大震災支援全国ネットワーク

東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）は、東日本大震災における被災者支援活動に携わる NPO、NGO、企業、財団、社団、協議会、機構、プロジェクト、ボランティア・グループ等、セクターを越えた全国規模の民間団体による災害支援のためのネットワーク組織です。

JCN では、山崎美貴子氏が代表を務めていると同時に、東災ボ参加団体の皆さんにも参画いただいております。

■みやけしまく風の家を通じた三宅島交流活動

東京災害ボランティアネットワークは、2000年の三宅島噴火災害、およびそれに伴う2005年の帰島支援ボランティア活動を経て、三宅島の皆さんと交流できる取り組みを実施してきました。

三宅島年末お掃除ボランティア

2005年の年末から始まったこの「三宅島年末お掃除ボランティア活動」も2011年で7回目となりました。2005年2月から8月まで約半年間におよんだ帰島支援ボランティア活動。多くのボランティアの方々に参加していただき、支援する者と支援される者の壁を超えた交流を持つことができました。

2005年10月からは、復興支援として、島民の加齢と島の高齢化課題に取り組む試みとして島民自身が運営する「みやけしまく風の家」を通じて様々な活動を展開しています。

日 時：2011年12月03日(金)～05日(日)：13名
2011年12月10日(金)～12日(日)：24名

場 所：三宅島

主 催：みやけしまく風の家／東京災害ボランティアネットワーク

参加者：東京からのボランティア参加 37名
東京からの事務局ボランティア 1名
三宅島現地事務局ボランティア 6名 計 44名

プログラム

：お掃除件数 11件
島内視察 島民ボランティアによる島内一周視察



ここ数年、海が荒れて島に船が辿り着かないケースも多かったのですが、本年度は2週とも無事取り組むことができました

■運営体制の強化

◇財政体制の強化

東災ボの財政体制を強化するにあたり、会費納入の徹底を図ることが必須となっています。2009年度からは、財政管理担当事務局員を置いたことにより、参加団体からの会費納入の管理が徹底され、納入額も安定してきました。

2009年度会費納入額	¥1,254,000
2010年度会費納入額	¥1,248,000
2011年度会費納入額	¥1,313,000

◇事務局体制の強化

事務局体制の強化として、2009年3月より、月1~2回で、成清正信さんが非常勤事務局員としてお手伝いいただけることになりました。また、3月11日の東日本大震災支援のために、現地事務局担当として、坂上幸一郎さん、北山光治さん、坂上由香さん、上原泰順さんの4名が非常勤事務局員として活動に参加して下さることになりました。これで、常勤事務局員が2名、非常勤事務局員(会計担当・東災ボ TIMES 担当、東日本大震災支援担当)が6名となりました。

常勤	事務局長	上原泰男	
	事務局次長	福田信章	
非常勤	事務局員	厚澤糸江	(会計担当)
	事務局員	成清正信	(東災ボ TIMES 担当)
			(東日本大震災支援担当)
	事務局員	坂上幸一郎	(東日本大震災支援担当)
	事務局員	北山光治	(東日本大震災支援担当)
	事務局員	坂上由香	(東日本大震災支援担当)
	事務局員	上原泰順	(東日本大震災支援担当)

なお、坂上幸一郎さんと坂上由香さんは2012年3月をもって事務局を離れ、お住まいの三宅島に戻っています。

2012 年度特別会計（東日本大震災被災者支援活動）報告

2011 年 3 月 12 日から 2012 年 3 月 31 日まで

収入		・39,147,891
支援金（※1）		・39,146,728
	個人	・1,121,278
	団体	・38,025,450
雑収入		・1,163
	利息	・1,163

支出 ・・・38,037,006

事業費		・20,828,568
	物品購入費	・6,396,485
	消耗品購入費	・549,067
	資機材購入費	・2,593,958
	食事会・喫茶食材費	・3,253,460
	ボランティア派遣費（※2）	・8,995,205
	ボランティアバス代金	・5,821,715
	ボランティア食材費	・2,940,000
	ボランティア入浴費	・230,590
	ボランティア医療費	・2,900
	車両関連費（※3）	・4,020,265
	ガソリン代	・1,609,470
	車両保険料	・540,140
	車両購入費	・951,050
	車両レンタカー代	・282,383
	車両修理・整備費	・439,271
	名義変更手数料	・31,400
	車検費	・166,551
	特別プログラム費（※4）	・1,416,613
	ニューオーリンズとの交流プログラム	・1,416,613
管理費		・17,208,438
	施設管理費	・661,336
	給水光熱費	・598,336
	拠点工事費	・63,000
	事務費	・2,432,547
	通信費	・265,820
	ボランティア保険代	・21,000
	新聞・書籍購入費	・145,727
	事業管理・運営費（※5）	・2,000,000
	人件費（※6）	・10,230,000
	交通費	・3,759,575
	高速道路代	・84,900
	宿泊費	・43,720
	タクシー代	・49,810
	駐車料	・68,230
	電車運賃	・3,243,665
	バス代	・269,250
	交際費	・124,980

収支 ・・・1,110,885

※1 支援金

支援金は、42名の個人からの支援金と、15団体からの支援金となります。なお、ご支援いただいた団体は、以下の通りです。ジャパンソサエティ、中央労働金庫、真如苑、三宅村、みやけじまく風の家>、(有)土屋商店、東京都学校生活協同組合、登米市社会福祉協議会、住友ゴム工業(株)、(株)東芝 CSR 推進室、非戦を選ぶ演劇人の会、東京都生活協同組合連合会、西原小同窓会幹事会、東京都共同募金会、パルシステム東京生活協同組合（敬称略）

※2 ボランティア派遣費

2011年4月から計48便ものボランティアバスを運行し、ボランティア派遣は総勢で803名（のべ5209名）となりました。ボランティアバスについては、日野市社会福祉協議会、荒川交通(株)、ニッポンレンタカー等のご協力により格安で運行が可能となりました。また、入浴にあたっては、施設に入浴機能がなかったため、登米市社会福祉協議会のご協力を得て、デイサービス用の入浴施設を借用させていただきました。

※3 車両関連費

車両は、2011年5月～8月に最大で15台を管理。2012年3月の段階では7台となっています。また、車両関連に関しては、パルシステム東京、ガリバー、久我山工房、(株)海鴻社、日本財団ROADプロジェクト他、数多くの個人の方々にご協力をいただいております。

※4 特別プログラム費

特別プログラムとして、東京災害ボランティアネットワークが2007年から交流を続けていたハリケーン「カトリーナ」の被災者の方々と、南三陸町の被災者の方々ととの体験交流プログラムをジャパンソサエティ等のご協力を得て実施してきました。ニューオーリンズ（NO）から5名の被災者・支援者をお呼びしてのプログラムとなりました。

※5 事業管理・運営費

東京災害ボランティアネットワークに支払う事業管理・運営費として2,000,000円（収入の約5%）を計上しています。本来であれば、10～15%が事業管理・運営費として妥当な割合ですが、2011年度については、約5%としています。

※6 人件費

今回の東日本大震災被災者支援活動では、従来の常勤事務局員2名に加えて、臨時事務局員として5名（現地事務局員4名、東京事務局員1名）を配置しております。これら7名のアルバイト代として、10,230,000円を計上しています。